

signia

Life sounds brilliant.

**クロス Pure 312 X 送信器
取扱説明書(保証書付)**

このたびはクロス Pure 312 Xをお買い求め頂き、まことにありがとうございます。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。また、この取扱説明書は保証書と一緒に大切に保管してください。

ご使用前に

■クロスPure 312 X送信器(以下:送信器)の使用、性能についての注意事項

- クロスPure 312 X送信器を使用するCROS/BiCROSシステムは、補聴器の装用効果を期待できない一側性難聴の方のために設計されています。

クロスPure 312 Xは2つのシステムにご利用できます。

● CROSシステム

一側の耳が殆ど聞こえない、もう一方の耳が正常な聴力または軽度の難聴の場合、聞こえない耳に装用した送信器が、その方向からの音を聞こえる耳に装用した補聴器に無線で送信し、音を届けます。

● BiCROSシステム

一側の耳が殆ど聞こえない、もう一方の耳が軽度以上の難聴の場合、聞こえない耳に装用した送信器が、その方向からの音を聞こえる耳に無線で送信し、補聴器が両側からの音を増幅して届けます。

クロスPure 312 X送信器は、当社指定の補聴器にて動作いたします。対応する補聴器についてはお求めの販売店にご確認ください。

注意

この取扱説明書には、送信器について書かれています。補聴器の取扱については、補聴器の取扱説明書をご確認ください。

※この取扱説明書の内容は2020年8月のものです。製品の仕様、付属品、外観などは予告なく変更される場合があります。

※本文中のイラストは、実際の製品と異なる場合がございます。


目次


- ご使用前に 2ページ
- 安全上のご注意(必ずお守りください。) 4ページ
- 防水性能について 10ページ
- 付属品の確認 12ページ
- 各部の名称 13ページ
- モールド・スリーブ・ドームの取扱い 14ページ
- 電池の取扱い 18ページ
- 装用の仕方 20ページ
- 操作の仕方 24ページ
- 送信器の設定 26ページ
- お手入れの仕方 30ページ
- 故障かなと思われたときは 32ページ
- 仕様 33ページ
- アフターサービスについて 34ページ
- 保証規定 35ページ
- 保証書 36ページ

安全上のご注意(必ずお守りください。)


お使いになる人や他の人への危害・財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生ずる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明します。


 **警告：** この表示がある項目は、「人が死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意：** この表示がある項目は、「人が傷害を負う可能性または物的損傷が発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 **禁止：** この表示がある項目はしてはいけない「禁止」の内容です。

■より快適なご使用のための方法を説明しています。

 よりよく送信機を使用するためのアドバイスとヒントです。

- 形式やオプションによって異なる機能を示します。
お求めの販売店に、該当する機能にチェックを付けるように
 ご依頼ください。

警告

■送信機や空気電池は飲み込むと窒息の危険を伴います。

- 小さな子供やペットが触れるところに置かないでください。
- 小さな子供やお年寄りが使う場合は、誤って送信機などを飲み込まないように、周囲の人が常に注意してください。

■誤って空気電池を飲み込んでしまった場合は、慌てずにすぐ医師、救急医療センターなどの診察を受けてください。

- 空気電池が消化管に接触し電流が流れると、短時間でも消化管の壁に損傷が起こる恐れがあります。電流が流れ続けると潰瘍ができたり、穴が開いたりする恐れがあります。
- 胃内で空気電池が留まると空気電池の金属皮膜が腐食し、電解液が流出して消化管の壁を損傷する恐れがあります。

■空気電池から漏れた電解液が目に入った場合、失明など障害の恐れがあります。こすらずに水道水などのきれいな水で十分に洗った後、すぐに医師、救急医療センターなどの診察を受けてください。

禁止

■下記の項目に該当する場合は、送信機を使用する前に耳鼻咽喉科医師の診察を受けてください。

- 耳を治療中のとき。
- 耳の手術を受けたとき。
- 最近3ヶ月以内に耳漏が生じたとき。
- 最近2ヶ月以内に聴力が低下したとき。
- 最近1ヶ月以内に急に耳鳴りが大きくなったとき。
- 耳の中に痛み、またはかゆみがあるとき。
- 耳垢、または異物の集積が明らかなき。

■病院などで治療や検査を受けるときは…

- 治療や検査の種類により送信器に悪影響を与える場合があります。係りの人に送信器をはずすかどうかお尋ねください。
- X線が照射されている場所や0.1T以上の強い磁場では、送信器をはずしてください。
- MRI検査のときは送信器を検査室に持ち込まないでください。事故や故障の原因になります。



■送信器と対になる補聴器はご使用になる方に合わせた専用の調整がされていますので、自分の補聴器を他人に聞かせたり、他人の補聴器を聞いたりしないでください。正しく調整されていないと効果がないばかりか、耳を傷める恐れがあります。

■送信器は完全防水ではありません。水などに故意に濡らさないでください。

■送信器を分解したり、ご自分で修理や改造などをしたりしないでください。

注意

■下記の項目に該当する場合は、送信器の使用をすぐに中止して、耳鼻咽喉科医師の診察を受けるか、販売店にご相談ください。

- 耳漏が生じたとき。
- 耳の治療が必要になったとき。
- 耳鳴りが生じたとき。
- 耳の聞こえが急に悪くなったと思えるとき。
- 耳の皮膚が赤くなったり、痛み、痒み、湿疹が生じたりしたとき。
- 使用すると頭痛や疲れが生じたとき。
- 送信器の外観などに異常を感じたとき。

■CROS/BiCROSシステムは周囲の警告音(車のクラクション、踏切の警報音など)が聞こえにくくなる場合があります

■空気電池は使い方を誤ると液漏れや発熱、破裂により、けがや送信器の故障の原因になります。次のことをお守りください。

- 充電しない。
- 分解したり、ショートさせたりしない。
- 加熱したり、火中に投入したりしない。
- 水などに濡らさない。
- 投げつけたり、強い衝撃を与えたりしない。
- 極性(+と-の向き)を間違えない。

■空気電池から漏れた電解液が皮膚や衣服に付着した場合、皮膚に障害を起こす恐れがあります。すぐに水道水などのきれいな水で洗い流してください。

■引火性の強い場所や爆発の危険のあるところでは、送信器を使用しないでください。

注意

■ 取扱いはていねいに

- 送信器は精密機械です。落としたり、ぶつけたりしないでください。
- 汗、皮脂、耳垢などが送信器内部に入ると、音が途切れたり、雑音が発生したり、故障する恐れがあります。ご使用の際は汗などが入り込まないように注意してください。また、ご使用後は必ずお手入れをしてください。
- 化粧、香水、ヘアスプレー、整髪料などを使用するときは必ず取りはずしてください。
- シンナー、ベンジンなどで拭かないでください。
- 送信器を電子レンジの中に入れてください。
- 送信器とミニレシーバの接続部を引っ張らないでください。



■ 送信器は高温や湿気をきらいます。

- 直射日光の当たる場所やストーブの近くなどには置かないでください。
- お風呂やシャワーに入るときは送信器を必ずはずしてください。
- 台所や浴室、洗面所など湿気のあるところに放置しないでください。
- 雨に濡らさないでください。

■ もし、水中に落としてしまったり、衣服といっしょに洗濯してしまったりしたら……

- 水中に落としたときは、空気電池を出してよく水を切り、陰干して修理に出してください。修理に出すときはその旨を説明してください。
- 洗濯機に入れたり、海水や汚水に落としたりしたときは、空気電池を出して真水で洗った後、よく水を切り陰干して修理に出してください。修理に出すときはその旨を説明してください。
- 雨や汗で濡れたときは乾いた布ですぐに拭き取り、空気電池を出して、乾燥ケースで乾燥させてください。

注意

■無線機器の利用が制限されている場所では、送信器の電源をお切りください。

■電磁波が発生するところについて

- ラジオ・テレビの放送所、タクシー無線の近くや、すぐ近くで電子レンジ・IHクッキングヒーターなどを使用しているところでは、補聴器から放送が聞こえたり、雑音が入ったりすることがあります。送信器の故障ではありません。補聴器を取外すか、その場所から離れてください。

■携帯電話について

- 携帯電話を使用するときは、使用する携帯電話によっては送信器に雑音が入ることがあります。その場合、携帯電話は使用しないようにお願いします。

■送信器や電池がご不要になった場合

- ご不要になった送信器およびその付属品は、自治体指定の方法で処分してください。
- 使用済みの電池は、自治体指定の方法で処分するか、お近くのボタン電池回収協力店へお持ちください。

■送信器を使用しないときは、空気電池を送信器から出して保管してください。

- 空気電池を送信器に入れたままにすると空気電池が液漏れや膨張をおこし、故障の原因になることがあります。
- 万一電池が破損し、電解液に触れたときはすぐに洗ってください。

防水性能について

クロスPure 312 X送信器の防塵防水保護等級はIP68です。これは「粉塵が中に入らない」「一時的に一定水圧の条件に水没しても影響がない(水深1mに1時間浸かっても、浸水がないことを確認。)」ことを意味します。

完全防水とは異なるので次の注意が必要です。

■保護等級に関わらず送信器を液体に浸したり、洗ったりすることを推奨するものではありません。

■クロスPure 312 X送信器は、液体や湿気の多い状態にさらされることを前提として設計されてはおりません。

■完全防水(メンテナンスフリー)ではありません。

- 浸水状態や高温、低温、多湿の場所に放置しないでください。また使用しないでください。(お風呂・温泉、サウナ・ミストサウナ、スキー、岩盤浴、消防・調理・環境試験業務、ドライヤーで乾燥、冷蔵庫の中、コンロ・ストーブの脇など)
- 洗濯機、超音波洗浄機、薬剤(石鹼、洗剤など)で洗わないでください。
- 防水性能は紫外線や摩擦、薬剤などで経年劣化します。
- 化学薬品やその他の液体は付着させないでください。(日焼け止めローション、シェーブローション、整髪料、ヘアスプレー、育毛剤、化粧水、香水など)
- 砂浜、砂場などの砂の上に直接置かないでください。マイクや音の出口などに砂が入り、音が小さくなったり歪んだりする原因となる恐れがあります。

- 水に濡れている最中、送信器に水滴がついているときや手が濡れている状態での電池室の開閉は絶対にしないでください。
- 電池室の内側が濡れている状態では絶対に電池を入れないでください。感電や回路のショートなどによる火災・故障の原因となります。
- 急激な温度変化は、結露の原因となります。寒いところから暖かい場所に送信器を持ち込むときは、送信器が常温になってから持ち込んでください。万一結露したときは、結露が取れるまで常温で放置してください。
- 落下させたり、強い衝撃を与えたり、音の入口などを綿棒やとがったものでつつかないでください。防水性能が損なわれる場合があります。
- ケースに劣化、破損があるときは、防水性能を維持できません。これらのときは、販売店までご連絡ください。
- 送信器は水に浮きません。
- アクセサリーは防水性能を有していません。水に濡れるような場所では、使用しないでください

付属品の確認

ご使用になる前に、付属品がすべて揃っていることを□に☑をいれて確認してください

お試し空気電池【1個】



クリックドームまたは
クリックスリーブ【1個】※

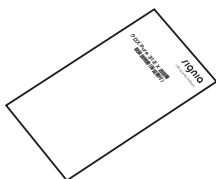


マグネット棒【1本】



※ご注文時に選択されたタイプ、
サイズになります。
アクセサリで他のサイズもあり
ます。
イラストはクリックスリーブです。

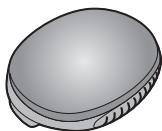
取扱説明書【1部】(本書)



補聴器早わかりガイド【1部】

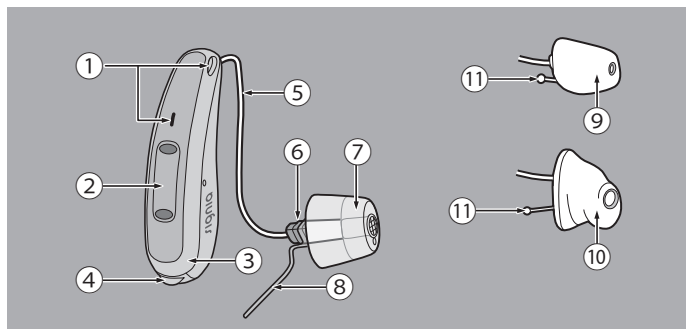


化粧ケース【1個】



付属品は商品の仕様変更などに伴いイラストと異なる場合がございます。

各部の名称



- ① 音の入口 ② ロッカースイッチ ③ ケース
④ 電池室 (18、19、24 ページ参照) ⑤ 導線チューブ
⑥ レシーバ (外装イヤホン) ⑦ クリックスリーブ / ドーム
⑧ ストッパー (コンチャロック) ⑨ クリックモールド (別売)※
⑩ HP モールド (別売)※ ⑪ テグス

⑤ ⑥ をまとめて「ミニレシーバ」と呼びます。

⑦ のイラストはクリックスリーブです。

※形状や大きさは、耳の形状により異なります。

クリックドーム、ミニレシーバは送信器を耳に保持するためだけに用います。そのため送信器から音は出力されません。

送信器には Bluetooth 機能が搭載されています。飛行機などの Bluetooth の使用が禁止されている場所では電源をお切りください。

CROS/BiCROS システムは補聴器のテレコイル、オーディオ入力、オーディオストリーミング向けのプログラムと同時に使用することができません。

モールド・スリーブ・ドームの取扱い

■HPモールドの取付け/取外し方法(ミニレシーバHP専用)

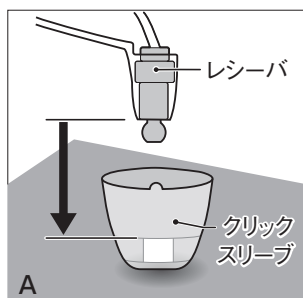
ミニレシーバHPは、HPモールドと一体になっております。分離することはできません。

■クリックモールド(別売)の取付け/取外し方法

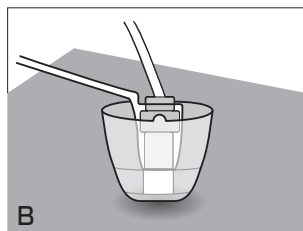
お求めの販売店にご依頼ください。

■クリックスリーブの取付け方法

- ① クリックドームを逆さまに机の上に置き上からレシーバをはめます。(図A)



- ② パチッとハマって完了です。(図B)

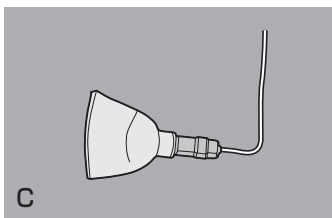


⚠ 注意

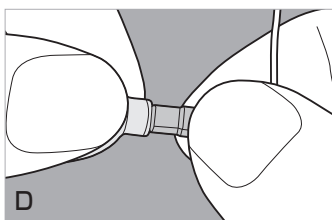
クリックスリーブは、レシーバの先端(ボール部)に完全にはめてください。

■ クリックスリーブの取外し方法

- ① クリックスリーブを裏返しに
します。(図C)



- ② レシーバ部分を押し込んでク
リックスリーブをレシーバか
ら引き抜きます。(図D)



⚠ 注意

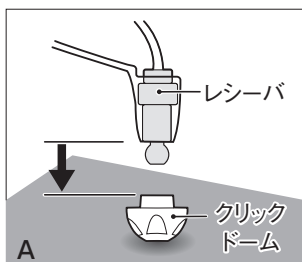
クリックスリーブを取外す際は、必ずレシーバ部分を押し込んでください。導線チューブなどを押し込んでクリックスリーブを取外そうとするとミニレシーバが破損する恐れがあります。

⚠ 注意

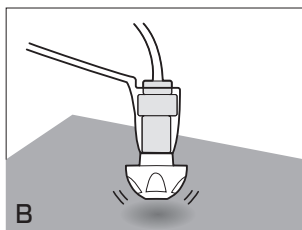
取外したクリックスリーブは、再使用しないでください。耳の中でクリックスリーブが外れる恐れがあります。
取付け/取外しが難しい場合は、お求めの販売店にご依頼ください。

■ クリックドームの取付け方法

- ① クリックドームを逆さまに机の上に置き上からレシーバをはめます。(図A)



- ② パチッとハマって完了です。(図B)

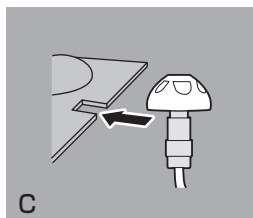


⚠ 注意

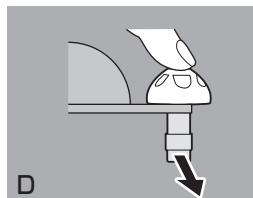
クリックドームは、レシーバの先端(ボール部)に完全にはめてください。

■ クリックドームの取外し方法

- ① 交換用クリックドームパッケージ（別売）の下部の切り欠き（青い矢印の所）にレシーバ先端をはめます。（図C）



- ② レシーバ部分を押し込めて、クリックドームからレシーバを引き抜きます。（図D）



⚠ 注意

クリックドームを取外す際は、必ずレシーバ部分を押し込めて引き抜いてください。導線チューブなどを押し込めてクリックドームを取外そうとするとミニレシーバが破損する恐れがあります。

⚠ 注意

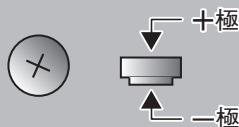
取外したクリックドームは、再使用しないでください。耳の中でクリックドームが外れる危険があります。
取付け/取外しが難しい場合は、お求めの販売店にご依頼ください。

電池の取扱い

■ 電池は、補聴器用PR41 (312) 型空気電池をご使用ください。

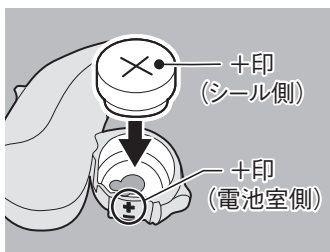
※補聴器用空気電池は、乾電池と+-が逆で、出っ張りが-、平らが+です。

■ PR41 (312) 型



■ 空気電池の入れ方

- ① 送信器の電池室を開きます。
- ② 送信器の電池室と空気電池の“+”表示が一致するように入れます。

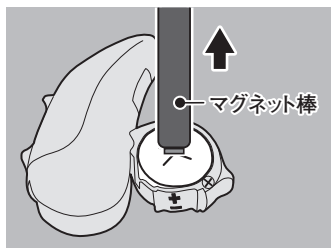


⚠ 注意

- 空気電池を逆向きに入れしないでください。
- 空気電池がうまく入らない場合は、無理に入れようとして空気電池の“+”“-”の向きとサイズを確認してください。
- 空気電池を無理に入れてしまうと送信機が壊れたり、電池室が開かなくなったり、空気電池が液漏れや膨張をおこしたりして、故障の原因になることがあります。

■ 空気電池の取出し方

- ① 送信器の電池室を開きます。
- ② 空気電池を取出します。
マグネット棒で引っ張り出してください。



■ 空気電池について

- 補聴器用の空気電池をご使用ください。
- 空気電池は、電池シールをはがしてから約1分後に使用可能になります。
- 空気電池は、使用するときには電池シールをはがしてください。一度、電池シールをはがすと、使用していなくても電池寿命は短くなります。
- 常に予備の空気電池を携帯しましょう。
- 空気電池を携帯・保管する際は、小銭やクリップなどの金属製のものと一緒に保管しないでください。
- 空気電池の寿命は、送信器の設定や使用する電池の種類、周囲の環境(低温・乾燥・多湿・二酸化炭素量)によって変わります。
- 特に冬場は、空気電池が苦手な空気の乾燥、ストーブなどによる二酸化炭素の増加、気温の低下が重なり、電池性能(電池寿命)が大幅に低下する場合があります。
- 冬場など空気電池が冷えてしまった場合は、人肌で温めてからご使用ください。
- 空気電池は乾燥ケースの中に入れてください。送信器を乾燥ケースに入れるときは、空気電池を送信器から取出してください。
- 使用前の空気電池は、常温で保管してください。直射日光の当たる場所や高温多湿な場所での保管はおやめください。高温多湿な環境での保管は漏液の原因になります。

装用の仕方

■装用前に

送信器は、左右があります。

送信器を装用する際は、左右を確認して装用してください。

- 赤=右耳用送信器
- 青=左耳用送信器



■クリックスリーブの場合

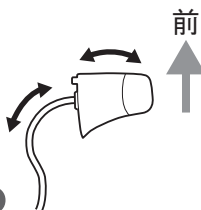
クリックスリーブは耳に入れる前にクリックスリーブとレシーバの方向を確認する必要があります。

クリックスリーブは、送信器を装用したときにクリックスリーブの突起が前の方に向きます。正しく取付けると下図のようにクリックスリーブの曲がりが導線チューブの曲がりに沿うようになります。

【正しい位置】

クリックスリーブと導線チューブの曲がりをそろえる

左耳用



クリックスリーブの突起が前方向

右耳用

【誤った位置】

クリックスリーブと導線チューブの曲がりが揃っていない

左耳用

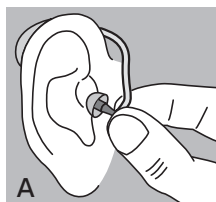


クリックスリーブの突起が後ろ方向

右耳用

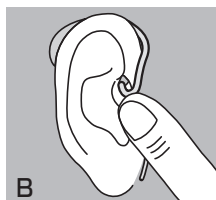
■送信器のつけ方

- ① クリックスリーブ、クリックドーム、クリックモールドがゆるんでいないことを確認します。

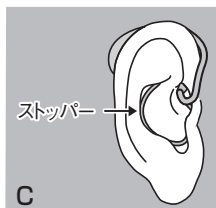


- ② 送信器を耳にかけます。

- ③ 図Aのようにミニレシーバのレシーバ部分を人差し指と親指でつかみ外耳道に挿入します。耳を後上方に引くと入れやすくなります。



- ④ ミニレシーバのチューブの曲がり部分が耳と接するぐらいまで図Bを参考に人差し指で押し込んでください。



- ⑤ 図Cのようにストッパーを耳のくぼみに這わせてください。

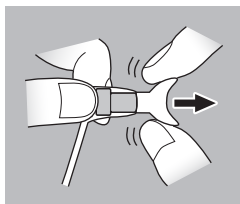
※ 耳の形状によりストッパーが耳のくぼみに入らない場合があります。その場合は、ミニレシーバからストッパーを取外してご使用ください。

⚠ 注意

ミニレシーバの導線チューブをつまんで外耳道に挿入しようとするとうミニレシーバが破損する恐れがあります。

⚠ 注意

- ミニレシーバには必ずクリックスリーブまたは、クリックドーム、クリックモールドを使用してください。
- クリックスリーブ、クリックドームは消耗品です。汚れ、変色、損傷した場合は新しいものに交換してください。また、使用状況にもよりますが3ヶ月を目安に交換してください。劣化した部品を使用すると耳の中に残ってしまい危険です。
- 送信器の装用前に必ずクリックスリーブ、クリックドームを指でかるくしごいて簡単に外れないことを確認してください。
(右図)
- レシーバにクリックスリーブ、クリックドーム、クリックモールドを取付けずに耳の中に入れてください。
- レシーバを外耳道の奥深くまで無理に入れることは避けてください。
- 他人の、クリックスリーブ、クリックドーム、クリックモールドは使用しないでください。
- クリックスリーブ、クリックドーム、が耳の穴に合わない場合は、別売のクリックモールド(特注耳せん)の使用をお勧めします。



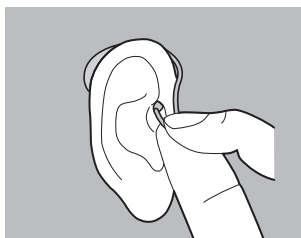
詳しくは、お求めの販売店にご相談ください。

⚠ 注意

クリックスリーブ、クリックドームの材質は、シリコン樹脂を使用しています。
万一、耳の穴の中にクリックスリーブ、クリックドームが残ってしまった場合、耳の穴の奥深く押し込まないように注意して、耳鼻咽喉科医師またはお求めの販売店にご相談ください。

■送信器の外し方

- ① ミニレシーバのレシーバ部分を指でつまみます。
- ② ミニレシーバをゆっくり外耳道から取り出します。
- ③ 送信器を耳から外します。

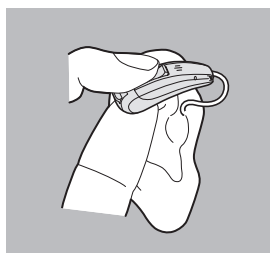


⚠ 注意

ミニレシーバの導線チューブをつまんで外耳道から取出そうとするとミニレシーバが破損する恐れがあります。

⚠ 注意

送信器を引っ張ってミニレシーバを外耳道から抜き出さないでください。無理に抜き出すと外耳道を傷つけたり、送信器やミニレシーバを破損したりする可能性があります。



操作の仕方

■電源の入れ方と切り方

電池室を利用して

電源を入れる：空気電池を入れ電池室を完全に閉じます。
数秒後に電源が入ります。

電源を切る：電池室を十分に開きます。

- 電池室を開閉するときは、開けた後3秒以上経ってから閉めてください。

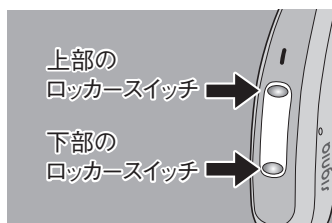
■スリープモード(ミュート)について

ロッカースイッチまたは別売のリモコンを利用して補聴器をスリープモード(ミュート)にできます。

ロッカースイッチを利用して

電源を切る：

ロッカースイッチの上部または下部のスイッチを長押ししてください。補聴器がスリープモードになります。



電源を入れる：

補聴器がスリープモードのときにロッカースイッチの下部のスイッチを長押ししてください。

- ① ● 送信器と補聴器の両方がスリープモードになります。
- スリープモードから復帰した時は、音量とプログラムはスリープモードになる前の状態を維持しています。
- スリープモードとは、補聴器から音を出力させない待機状態のことです。そのため微弱電流を消費します。

■プログラム(聞こえ)の選択

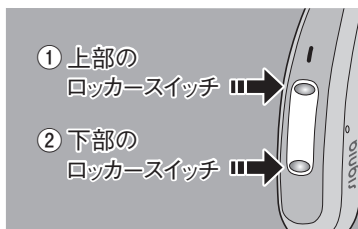
送信器で補聴器のプログラムを切り替えることができます。

ロッカースイッチを利用して

ロッカースイッチを押すと設定されたプログラムが順番に切り換わります。

① 上部のロッカースイッチ
(1→2→3→……→1)

② 下部のロッカースイッチ
(1→6→5→……→1)



- i** ロッカースイッチの上部または下部スイッチの長押し(4秒間)で補聴器はスリープ状態になり音が出なくなります。ロッカースイッチの下部スイッチを長押しするとスリープ状態が解除され音が出ます。

⚠ 注意

補聴器がテレコイルやストリーミングモード時には、送信器でプログラムの選択ができなくなります。

■ 空気電池が消耗したとき

- 空気電池が消耗するとお知らせ音が補聴器から聞こえます。
- 音が聞こえなくなった後、一旦電池室を開けて閉めると、再び聞こえることがありますが、長くはご使用になれません。
- 古い空気電池を入れたままにすると、空気電池の液漏れや膨張をおこすことがありますので、必ず取出してください。



- 使用する空気電池の種類、周囲の環境（低温・乾燥・多湿・二酸化炭素量）によって、お知らせ音が聞こえるまでの時間は異なります。
- 送信器と補聴器のお知らせ音は異なります。

⚠ 注意

補聴器の調整によっては、お知らせ音が十分に聞こえない場合があります。

送信機の設定

お求めの販売店で、送信器に設定されていお知らせ音を下記の表に記入してもらってください。

(にチェックを 入れてください)

送信機

空気電池

PR41 (312) 型

お知らせ音

電池容量の警告※

有効

無効

※補聴器の「電池容量の警告」を有効にする必要があります。

■お求めの販売店に、ご使用中のモードにチェックを入れて
もらってください。(にチェック を入れてください)

オーダー耳せん

クリックモード※

HPモード※



※形状や大きさは、耳の形状により異なります。

- お買い求めの販売店に、ご使用中のクリックスリーブ/クリックドームにチェックを入れてもらってください。
にチェックを入れてください

クリックスリーブ

クリックスリーブ
XS(穴あり Vented)
 4+10



クリックスリーブ
S(穴あり Vented)
 7+12



クリックスリーブ
XS(穴なし Closed)
 4+10



クリックスリーブ
S(穴なし Closed)
 7+12



クリックスリーブ
M(穴あり Vented)
 9+14



クリックスリーブ
L(穴あり Vented)
 11+16




クリックスリーブ
M(穴なし Closed)
 9+14



クリックスリーブ
L(穴なし Closed)
 11+16

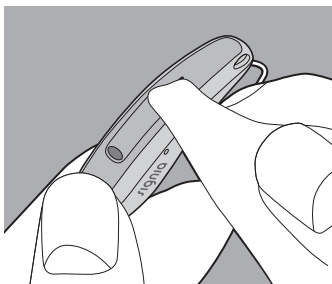


クリックドーム

| | | |
|--|--|--|
| <input type="checkbox"/> クリックドーム 4mm (オープン) | <input type="checkbox"/> クリックドーム 8mm (オープン) | <input type="checkbox"/> クリックドーム 10mm (オープン) |
|   |   |   |
| <input type="checkbox"/> クリックドーム 6mm (クローズ) | <input type="checkbox"/> クリックドーム 8mm (クローズ) | <input type="checkbox"/> クリックドーム 10mm (クローズ) |
|   |   |   |
| <input type="checkbox"/> クリックダブル ドーム 8+10mm | <input type="checkbox"/> クリックダブル ドーム 10+12mm | <input type="checkbox"/> チューリップ ドーム 8+12mm |
|   |   |   |

お手入れの仕方

- 送信器は常に清潔にしておいてください。
- 送信器のお手入れは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。汚れがひどいときは、真水を湿らせた柔らかい布で汚れを落とした後、乾拭きしてください。



⚠ 注意

- 送信器を水で洗ったり、水に浸したりしないでください。
- お手入れ中に、送信器に強い力を加えないでください。

- 送信器のご使用後は、送信器を乾いた布で拭いたあと、空気電池を出して電池室を開けたまま乾燥ケースの中で乾燥させてください。空気電池も汗を拭き取ってください。(特に梅雨、夏場は水分や汗が補聴器の中に入りやすくなります。) 送信器を乾燥ケースの中に入れて、蓋をしっかりと閉めてください。蓋が閉まっていないと乾燥効果を十分に得られません。



※空気電池は乾燥ケースの中に、決して入れないでください。

❶ 乾燥剤の色が白く変わっている場合、乾燥効果を十分に得られません。

その場合、新しい詰め替え用に交換してください。
湿気の状態にもよりますが乾燥剤は3ヶ月を目安に交換してください。(梅雨、夏季は1ヶ月が目安です。)

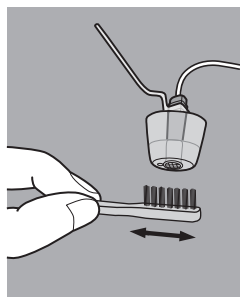
- クリックスリーブ/クリックドーム/クリックモールド(別売)は常に清潔に保ちましょう。クリックモールドのクリーニングにはクリーニングシート/クリーニングタブレット(別売)をご使用になるとたいへん便利です。
- 毎日ご使用後汚れをクリーニングするようお勧めします。

■ 掃除の仕方

補聴器に付属しているブラシをお使いください。

耳垢が中に入らないようにブラシを上向き、レシーバを下向きにして掃除します。クリックスリーブ/クリックドームをご使用の場合は、掃除が終わったら必ずクリックスリーブ/クリックドームの取付けを確認してください。

もし緩んでいたら取外して、新品に交換してください。



図はクリックスリーブです

⚠ 注意

クリックスリーブ/クリックドームは消耗品です。取外したクリックスリーブ/クリックドームは決して再利用しないで捨ててください。

故障かなと思われたときは

送信器の聞こえ方が悪くなったときは、次の要領でお調べください。

1 送信器が汗や水分に濡れましたか？

はい

空気電池を取出した送信器を乾燥ケースに入れて乾燥させてください。
(30ページ参照)

いいえ

2 空気電池が消耗していませんか？

はい

空気電池を交換してください。
(18・19ページ参照)

いいえ

3 クリックドーム、クリックスリーブが汚れていませんか？

はい

交換もしくは掃除してください。
(14・15・16・17・31ページ参照)

いいえ

4 クリックドーム、クリックスリーブが正しく耳に入っていますか？

いいえ

正しく耳に入れ直してください。
(20・21ページ参照)

はい

お求めの販売店に修理をご依頼ください。

技術資料

● 保管と輸送について

長期間の保管や輸送をする際は下記の環境を保ってください。
保管する際は、送信器のクリーニングをして、よく乾燥させてから保管してください。

| | |
|------|--------------------------|
| 保管条件 | 温度：10～40℃ 湿度：10～80%RH |
| 輸送条件 | 温度：-20～60℃ 湿度：5～90%RH |

電池の保管・輸送条件は異なります。電池と一緒に長期間の保管・輸送をしないでください。

● 技術基準適合証明

形式：クロス Pure 312 X

  202-LSG009

分解、改造すると電波法に抵触する恐れがあります。

アフターサービスについて

- **保証書 (36ページ)**

保証書には必ず「販売店名、お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、大切に保管してください。

- **保証期間中、修理依頼されるとき**

恐れ入りますが、保証書を添えてお求めの販売店へお持ちください。

保証書の記載内容に従って、修理いたします。保証書の提示がないときは有料修理になります。

HPモールド、クリックモールドの再作保証は製造日より120日です。

- **保証期間経過後の修理について**

お求めの販売店または弊社にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

- **部品の保有期間**

補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後5年間です。(部品の供給状況により、短くなる場合がございます。)

その他のお問い合わせは……

- **アフターサービスなどについてご不明な点は、お求めの販売店までお問合せください。**

保証規定

1. 取扱説明書等の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、お買上の販売店に修理をご依頼ください。
 2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、商品と保証書をご準備のうえ、お買上の販売店にご依頼ください。
 3. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤りや不当な修理、改造による故障および損傷。
 - (ロ) 水没、落下等、お客様の過失による故障、および損傷。
 - (ハ) 犬やその他の動物が噛んだことによる、故障および損傷。
 - (ニ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障および損傷。
 - (ホ) 保証書の提示がない場合。
 - (ヘ) 保証書にお買上日、製造番号、お客様名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えた場合。
 - (ト) 故障の原因が本製品以外に起因する(電源の異常電圧等による)場合。
 - (チ) 付属・消耗部品(ミニレシーバ・クリックスリーブなど)。
- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社にお問い合わせください。
- ※ お客様にご記入いただいた保証書は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

保証書

| | |
|------|--|
| 品名 | クロス Pure 312 X 送信機 |
| 製造番号 | |
| お買上日 | 年 月 日 |
| 保証期間 | お買上日より1年間 |
| 保証対象 | クロス Pure 312 X 送信機 本体 |
| お客様名 | 様 |
| 販売店 | 店名・住所 店舗様控えが必要な際はお手数ですが、コピーをお願いいたします。 |

製造販売業者：シバントス株式会社

住 所：〒242-0007 神奈川県大和市中央林間7-10-1
三機大和ビル 6F

TEL 0800-888-0303 FAX 0800-888-4133

※フリーコールにつながらない場合は、下記番号まで
お問合せください。

TEL 046-289-0303 FAX 046-407-1133



* 1 0 9 8 1 8 6 8 *

キ -10981868 / 2020.8